

各 関 係 大 学 長
各 関 係 大 学 学 部 長 殿
各 関 係 機 関 の 長

国立感染症研究所長
(公印省略)

ハンセン病研究センター感染制御部長の公募について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度当所ではハンセン病研究センター感染制御部の部長候補者を公募することになりました。

ハンセン病研究センター感染制御部は、ハンセン病その他の抗酸菌に起因する疾病に関し、次に掲げる業務をつかさどっています。

- 一 微生物学的、生化学的及び分子生物学的調査及び研究を行うこと
- 二 実験動物学的及び免疫学的調査及び研究を行うこと
- 三 抗らい菌療法の開発及び改良に関する調査及び研究を行うこと

つきましてはご多用中のところ誠に恐縮に存じますが、関係者各位に周知いただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らい願います。

記

1. 候補者資格条件

- ① ハンセン病を含む抗酸菌感染症に対して公衆衛生学的に対応しうる高い見識と能力を有し、抗酸菌感染症に関する研究に強い意欲を持つこと。
- ② 感染症に関する優れた研究実績を有すること。
- ③ 部をまとめる資質を有し、国際的に対応する能力を有すること。
- ④ 学位（博士号）を有すること。また、医師であることが望ましい。

2. 提出書類

- ① 履歴書（A4版横書き、氏名、性別、生年月日、現住所、学歴（高等学校卒業以降）、学位、職歴、1カ月以上の海外歴とその内容、所属学会名、学会等での役職名、国内外の委員歴、賞罰、健康状況等。）
- ② 業績目録（A4版横書き、別紙様式をご参考下さい。）
- ③ 主要論文の別刷（写し可）10編以内
- ④ 主要研究概要と今後の抱負（400字詰原稿用紙3枚以内）

3. 応募締切日

平成28年10月14日必着

4. 選考採用試験スケジュール

- (1) 第1次審査（書類選考） 平成28年11月2日（予定）
- (2) 第2次審査（面接試験） 平成28年11月25日（予定）

※第1次審査（書類選考）を通過された方には、当方から第2次審査（面接試験）に関する連絡をいたします。

5. 採用予定日

平成29年 4月 1日（予定）

6. 処遇

「一般職の職員の給与に関する法律（昭和25年法律第95号）」等に基づく。

7. 書類提出先

郵便番号162-8640 東京都新宿区戸山1-23-1
国立感染症研究所長 倉根 一郎

応募書類の封筒には「ハンセン病研究センター感染制御部長応募」と朱書の上、
所長宛親展とし、書留で郵送して下さい。

また、応募書類は、本公募の用途に限り使用し、頂いた個人情報は適正な理由なく
第三者へ開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。
なお、提出された書類は返送致しませんのでご了承ください。

7. 問い合わせ先

国立感染症研究所 総務部総務課人事係 斎藤・寺本
電話：03-5285-1111（代表）内線2024
03-4582-2624（直通）
E-mail：jinji@nih.go.jp

業績目録

氏名 _____

1. 著書

2. 学術論文(学会誌発表等)

(1) 欧文

(2) 邦文

3. 学会発表(講演・発表等)

(記入上の注意事項(共通))

1. 上記項目ごとに、著者名等、著書名等、発行所名(発表雑誌名)の順で記載し、それぞれを改行すること。
2. 年代の新しいものから順に記載すること。
3. 発行所名、発表雑誌名の次に巻号、ページ数及び発行等の西暦を記入すること。
(例: Journal of Virology, 78:1298-1315, 2002)
4. 欧文の発表等は、原文のまま記載し、下段に()書で和訳を記載すること。
5. 各題名の書き出しに、発表形態の種別を記載すること。(単独は(単)、筆頭は(筆)、その他は(他))
6. 著者名等は、本人以外も省略せず全て記載し、さらに本人の名前にアンダーラインを引くこと。
7. 長期の無発表期間がある場合は、その理由書を添付すること。

(参考例)

1. 著書

- ① 労働太郎、厚生太郎
(他炎症の組織病態
〇〇社, PP.67-87, 1989)

2. 学術論文

(1) 欧文

- ① Taro kousei, Jiro Kousei, Saburou Kousei, Tarou Roudou, Jiro Roudou, Saburou Roudou
(筆) An Outbreak of 〇〇〇〇〇〇〇 Infection in USA, 2002
(〇〇〇〇〇〇〇感染症のアウトブレイクー2002年アメリカ)
Epidemiology and Infection, 15:286-289, 2002

(2) 邦文

- ① 厚生太郎、厚生二郎、厚生三郎、労働太郎、労働二郎、労働三郎
(筆) An Outbreak of 〇〇〇〇〇〇〇 Infection in Oosaka, JAPAN, 2004
(〇〇〇〇〇〇〇感染症のアウトブレイクー2004大阪)
Epidemiology and Infection, 16:311-335 2004

3. 学会発表

- ① 厚生太郎
(単) ラット皮下腫瘍の消長と〇〇〇の相互関係について
第25回日本病理学会総会, 東京, 1989

4. 外部資金(研究費)獲得状況(研究代表者のみ、直近5年)

- ① 厚生労働省、〇〇(課題名)
期間: 平成〇〇年~平成△△年、金額〇〇〇円/年
- ② 科学研究費補助金、(課題名)□□□□□
期間: 平成〇〇年~平成△△年、金額〇〇〇円/年